

米国 I S M製造業景気指数 (13年 3月)

発表日：2013年4月1日 (月)

～自動歳出削減プログラム開始により大幅低下、拡大モメンタムの鈍化を示す～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治

03-5221-5001

I S M製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
12/01	53.7	56.5	54.9	55.3	49.5	52.2	52.5	55.5	55.0	52.5
12/02	51.9	54.9	54.8	52.1	49.5	48.4	52.0	61.5	59.5	54.0
12/03	53.3	56.8	55.9	55.6	50.0	48.0	52.5	61.0	54.0	53.5
12/04	54.1	57.6	59.0	56.8	48.5	48.7	49.5	61.0	59.0	53.5
12/05	52.5	57.2	54.1	55.9	46.0	49.2	47.0	47.5	53.5	53.5
12/06	50.2	49.6	52.4	55.7	44.0	49.5	44.5	37.0	47.5	53.5
12/07	50.5	47.5	53.3	53.2	49.0	49.7	43.0	39.5	46.5	50.5
12/08	50.7	48.9	48.9	52.6	53.0	50.2	42.5	54.0	47.0	49.0
12/09	51.6	51.7	51.4	53.7	50.5	50.5	44.0	58.0	48.5	49.5
12/10	51.7	52.8	53.3	52.3	50.0	49.9	41.5	55.0	48.0	47.5
12/11	49.9	51.1	53.1	50.1	45.0	50.1	41.0	52.5	47.0	48.0
12/12	50.2	49.7	52.6	51.9	43.0	53.7	48.5	55.5	51.5	51.5
13/01	53.1	53.3	53.6	54.0	51.0	53.6	47.5	56.5	50.5	50.0
13/02	54.2	57.8	57.6	52.6	51.5	51.4	55.0	61.5	53.5	54.0
13/03	51.3	51.4	52.2	54.2	49.5	49.4	51.0	54.5	56.0	54.0

(出所) I S M : the Institute for Supply Management

I S M製造業景気指数 は51.3と前月比2.9% ポイント低下

13年3月のI S M製造業景気指数は、51.3と拡大縮小の分岐点である50を4ヵ月連続で上回ったものの、前月比2.9%ポイント低下しており、製造業の拡大モメンタムの鈍化を示した(市場予想中央値54.1、当社予想53.6)。

米国国内最終需要が緩やかな拡大傾向を辿っているほか、世界的な生産活動の持ち直しているものの、3月に自動歳出削減プログラムが開始したことなどを背景に、新規受注、生産、在庫、入荷遅延が低下した。

総合指数への構成項目別の寄与度では、雇用(前月比+0.3ポイント)が押し上げ寄与となった一方、新規受注(前月比▲1.3%ポイント)、生産(前月比▲1.1%ポイント)、入荷遅延(前月比▲0.4%ポイント)、在庫(前月比▲0.4%ポイント)がマイナス寄与となり、総合指数は前月比▲2.9%ポイント低下した。

活動の拡大した業種は 14業種

活動の拡大した業種数は、全18業種中14業種(前月15業種)と小幅減少にとどまった。拡大した業種は、木材製品、家具・同関連製品、プラスチック・ゴム、電気装置・同機器・同部品、加工金属、紙製品、アパレル・皮革・同製品、その他製造業、非鉄、コンピューター・電子機器、輸送機械、印刷・同関連支援、一次金属、食品・飲料・タバコ。一方、縮小した業種は石油・石炭、一般機械、化学製品の3業種(前月3業種)となった。繊維は変わらず。

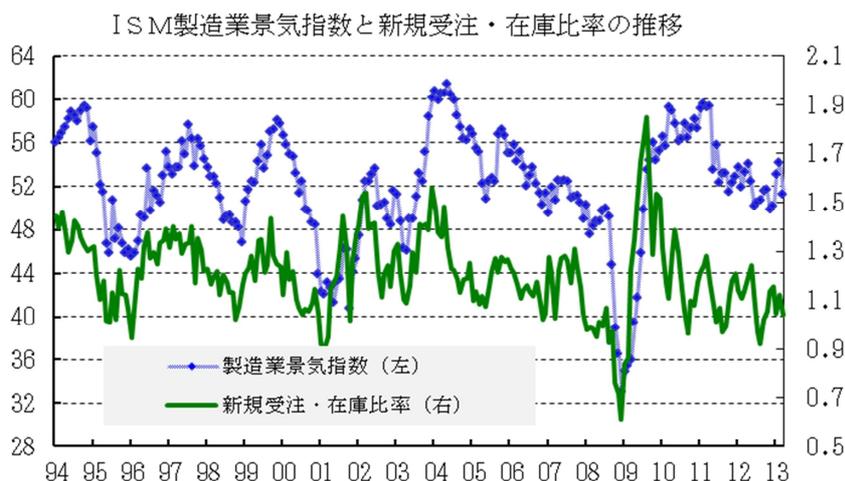
新規受注の拡大した業種数は12業種（前月15業種）に減少した。新規受注の拡大した12業種は、木材製品、家具・同関連製品、非鉄、アパレル・皮革製品、加工金属、その他製造業、輸送機械、プラスチック・ゴム、一般機械、紙製品、電気装置・同機器・同部品、食品・飲料・タバコ。一方、縮小した業種は石油・石炭製品、一次金属となった。

生産の拡大した業種数は13業種（前月13業種）と変わらずとなった。生産の拡大した13業種は、木材製品、紙製品、非鉄、プラスチック・ゴム製品、コンピューター・電子機器、アパレル・皮革製品、家具・同関連製品、電気装置・同機器・同部品、輸送機械、一次金属、加工金属、その他製造業、食品・飲料・タバコ。一方、縮小した2業種は、一般機械、化学製品。

（注）下線は拡大を続けた業種

I S M製造業景気指数は緩やかな拡大を示す水準を維持する見込み

今後に関しては、米国企業が過剰な在庫や雇用を抱えていないほか、緩やかながらも持続する米国内需要の成長、世界経済の持ち直しなどに下支えされ、I S M製造業景気指数は製造業部門の拡大を示す水準を維持すると予想される。



(出所) I S M

前月比で輸出の持ち直しを示唆

輸出受注D Iは、3月に56.0と拡大縮小の分岐点である50を上回ったうえ、前月比2.5%ポイント上昇した。世界的な景気回復の動き等により、輸出の持ち直しが示された。

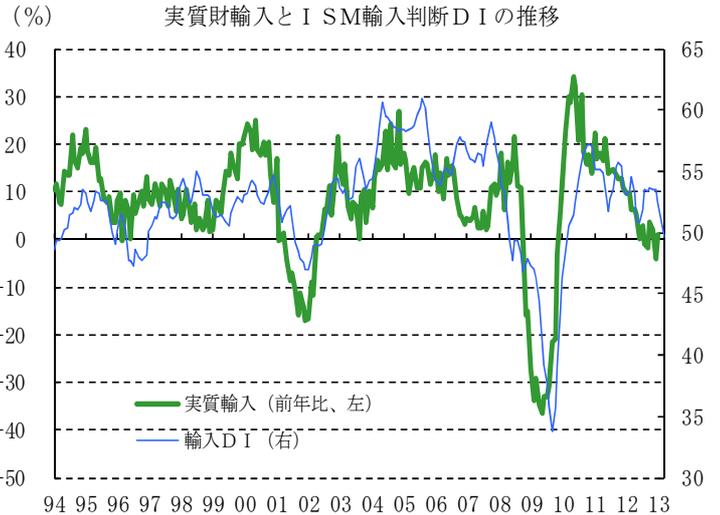
各国の米国向け輸出は今後加速する可能性

輸入D Iは、3月に54.0と前月比変わらずとなったほか、新規受注D Iが51.4と大幅に低下したものの、ともに拡大縮小の分岐点である50を上回っていることから、日本など先進国、B R I C S等の新興国の米国向け輸出の拡大ペースが今後加速する可能性を示唆している。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



(出所) ISM

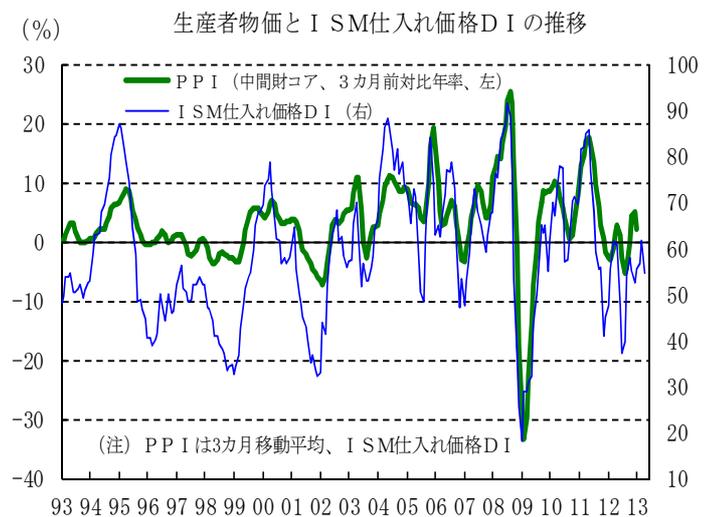
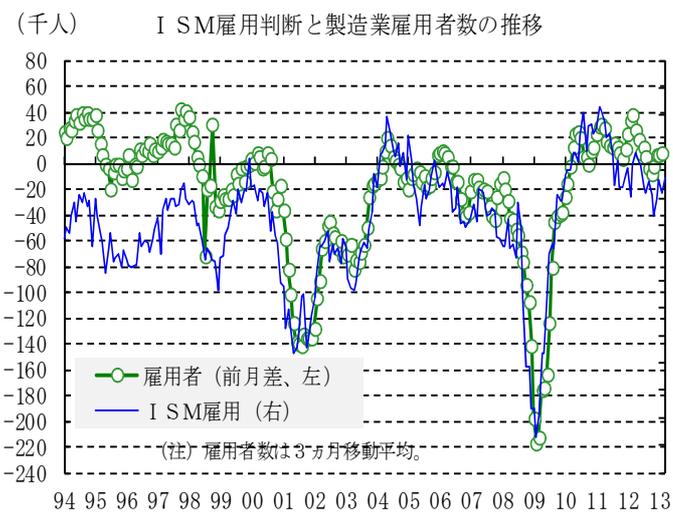


雇用DIは54.2と製造業雇用の小幅増加を示唆

雇用DIは、3月に54.2と前月比1.6%ポイント上昇しており、製造業部門雇用者数の小幅増加を示している。米国経済や政策の先行き不透明感、価格競争の激化によるコスト削減圧力を背景に、製造業部門での雇用の回復ペースは鈍い状況が続こう。

仕入価格DIは54.5と低下し、水準も低いことから、川中のインフレ圧力は弱いまま

仕入価格DIは、3月に54.5と前月比7.0%ポイント低下したうえ、水準も低いことから、川中でのインフレ圧力は弱いままと判断される。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。